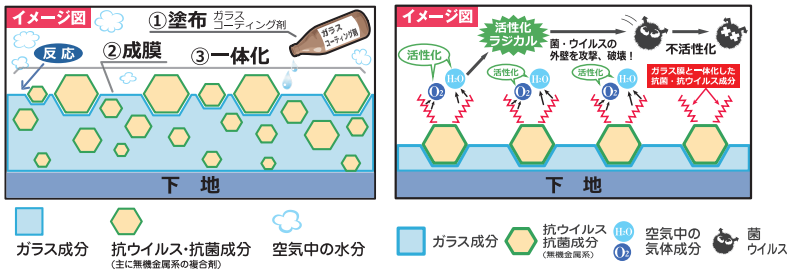
抗ウイルスガラスコーティング

抗ウイルス・抗菌効果 メカニズム



① ガラス膜と一体化した抗ウイルス・抗菌成分が、空気中の気体成分(O_2、H_2Oなど)を活性化させて細胞膜を攻撃するラジカルへ変換する。

② ①で発生した活性化ラジカルが、ウイルスや菌の外壁を攻撃し、破壊する。

③ ウイルスや菌が不活性化(=死滅)し、感染リスクを減少させる。

ガラスコーティングの機能

防　汚　性
撥　水　性

ガラス表面は、耐汚染性を有しています。有機系塗料と比較して表面劣化はほとんどないため、汚れの拭き取りも容易です。
基材表面にガラス層を形成しますので、水分の浸透がなく高い撥水性を有します。

耐　久　性
防傷・耐摩耗性

ガラスコーティング層は石英ガラスと同等です。促進耐候性試験では5年分を照射した後でも、コーティング層が残っていることを確認しています。
ガラスコーティング表面の硬度は9H相当でメラミン化粧板が6H～7H相当ですから、より強靭で防傷・耐摩耗性も向上します。

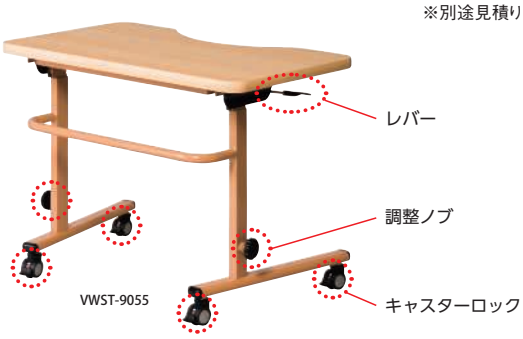
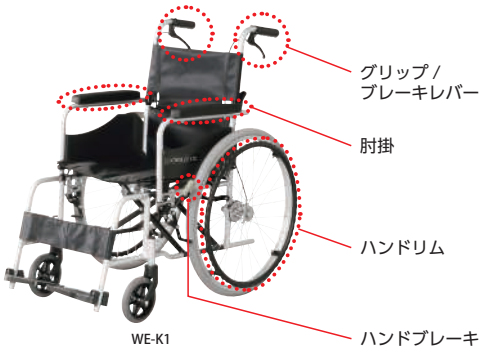
※コーティング層は0.1μm程度で非常に薄いため、下地素材の影響を大きく受けます。金属とプラスチック或いは、木質など素材の違いで防傷性能は変化します。

耐薬品・耐溶剤性
メンテナンス性

ガラスコーティング層は薬品や有機溶剤に侵されることがなく、消毒の次亜塩素酸などの薬品やシンナーからも基材表面を保護します。マジックペンなどの落としにくい油性に対しても塗装用シンナーで落とすことが可能です。

※ 強アルカリ洗剤の使用はできません。

イスの肘や取手、操作レバーなど、人の手が触れる場所の多い製品などにガラスコーティングを施すことで、抗ウイルス製品にすることが可能です。

通常品　　ガラスコーティング

※別途見積り